

青少年の体験活動等の重要性に係る普及・啓発事業

「はなやまんまるキャンプ」

1. 趣旨

東日本大震災を経験した宮城県内に在住する児童が、集団での生活や自然体験活動を通して、問題解決力やストレスに打ち勝つ力を育むことで、復興への前向きな姿勢や態度につなげる。

2. 事業の概要

(1) 期日

①平成29年11月 3日(金・祝)～ 5日(日)【2泊3日】

②平成30年 1月 6日(土)～ 8日(月・祝)【2泊3日】

(2) 参加者

[参加対象及び人数]

①、②各回 宮城県内在住の小学校4年生～小学校6年生 50名

①11月コース対象地域：宮城県北地域

②1月コース対象地域：宮城県南地域

[参加状況]

		小学校4年生	小学校5年生	小学校6年生	計	
①	男子	11	6	8	25	57
	女子	11	8	13	32	
②	男子	7	5	4	16	44
	女子	11	11	6	28	

3. 企画運営のポイント

東日本大震災の影響として焦点化すべきような問題や事象が特定できなかったため、事業のテーマ設定が難しかった。ただし、東日本大震災対応事業という以外に制約がなく自由度が比較的高いことから、実験的に問題解決力をテーマにして、当日の子どもたちの様子でプログラム変更する等柔軟に展開することができた。それに合わせてスタッフも共通理解し、まずは見守って、参加者が自分で気づいたり、判断したりする場面を増やそうという体制で臨んだ。

4. 日程

	午前	午後	夜間
1日目	11:30集合	○「仲間づくりご飯づくり」	○自由時間
2日目	○「ハナヤマクエスト」 花山で、自然の中で、様々な「ステージ」をグループでクリアしていく ○11月、1月それぞれの自然の恵みを取り入れた活動		
3日目	○「ハナヤマザイク」 グループで、全員で作り上げる	13:00解散	

5. 主な活動内容



「ハナヤマクエスト」で課題をクリア



「ハナヤマザイク」57人での話し合い



「ハナヤマザイク」虹のモザイクアート



「ハナヤマクエスト」積雪時バージョン

6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

- ①満足：75% やや満足：21% やや不満：4% 不満：0%
②満足：61% やや満足：34% やや不満：5% 不満：0%

(2) 参加者の声

- ・「考える・想像する・みんなで決める」の大切さが知れる内容でした。
- ・いろんなことを自分で判断するのが勉強になりました。
- ・見知らぬ町で地図をたよりにグループで相談しながら進んでいけたのでよかったです。
- ・(ハナヤマザイクが)最後まで完成しなくて悔しかったけど、この経験を通してもっとみんなの友情を深めたいと思った。

(3) 成果

11月の回は紅葉の時期ではあったがプログラムの内容に影響を及ぼすという意味では、自然の恩恵を受けるのが困難な時期である。したがって、子ども達が楽しみながら活動できるようにストーリー仕立てにして、「課題解決型オリエンテーリング」を「ハナヤマクエスト」と題して行ったところ、参加者に好評であった。季節を選ばないプログラムとして様々な可能性がある。

(4) 課題

参加者アンケート結果の「満足」の割合について、①が75%、②が61%とあまり高くなかった。子どもたちが自分たちで解決しなければならない場面を意図して設定したことが過度のストレスとなった参加者もいたように思うので、プログラムとして意図した負荷はかけつつも、4～6年生の3学年にわたる対象年齢に対しての説明や進め方についてさらに工夫する必要がある。

担当：企画指導専門職 島貫 織江